

5月は地区総体にスポーツテスト、意見発表会などがあり、忙しくも充実した月だったのではないのでしょうか。5月の図書館だよりでは“朝の読書”感想紹介、“4月の図書貸出状況”、そして“休館日のお知らせ”についてお伝えします。



「朝の読書」感想紹介 Part1

庄農では、朝のSHR前の時間に週替わりで“朝の読書”と“マナトレ”に取り組んでいます。今回は4月から朝の読書で読んでいた本の感想をいくつか紹介します。



◆『いのちをはぐくむ農と食』（小泉 武夫著，岩波書店，2008年）

- ・私は、この本を読んで感じたのが、日本の農業の後継者不足という大きな問題と、食料自給率が他国と比べるととてつもなく低いことです。その解決のためにも、私は庄農で勉強し、農家として頑張ろうと思います。（1A男子）



◆『世界の国1位と最下位：国際情勢の基礎を知ろう』（眞 淳平著，岩波書店，2010年）

- ・この本を読んで、世界には小さい国とか、経済的に苦しい国とさまざまな国があることができたと思います。（1B女子）



◆『日本の農業を考える』（大野 和興著，岩波書店，2004年）

- ・現代の日本の農業は、大半が高齢者だと分かった。少しでも若い人たちが農業に取り組めるような対策ができると良いと思った。（1C男子）



◆『農は過去と未来をつなぐ』（宇根 豊著，岩波書店，2010年）

- ・私はこの本を読んでみて、感じたことがあります。田んぼの周りには多くの生物がいるという事であり、その環境を知るということは、次の改善点を見つけたり、今自分の田んぼがどれだけ良いかということが分かります。（2A男子）



◆『10代のうちに考えておくこと』（香山 リカ著，岩波書店，2005年）

- ・10代の私達は大人よりずっとたくさんのことを考えていたり、悩んだりしていることが分かったので、恐れず前向きに頑張ろうと思いました。私はときどきネガティブになることがあるけれど、悩んだりすることは悪いことではないんだと気づけたし、自分自身を大切にしていきたいと思うようになったので、この本を読めて良かったです。（2B女子）



◆『勇気ってなんだろう』（江川 紹子著，岩波書店，2009年）

- ・この本を読む前までは、勇気は大げさで…とっていたけれど、厳しい状況に置かれながら自分と向き合い、信念を貫いた人たちが話してくれた悩みや後悔を聞いて、少しだけ、勇気を身近に感じられてきました。（2C女子）

「朝の読書」感想紹介 Part2



◆『道は自分で切りひらく:大リーガーたちのチャレンジ』(広岡 勲著, 岩波書店, 2007年)
 ・私はこの本を読んで松井秀喜選手のエピソードが心に残りました。私は野球のことはよく分かりませんが、裏ではとても悩んでいた松井選手がいたことが分かりました。私生活のこともすごくよく分かり、外国での生活はじぶんが思う以上に大変だということが分かりました。(3A 男子)

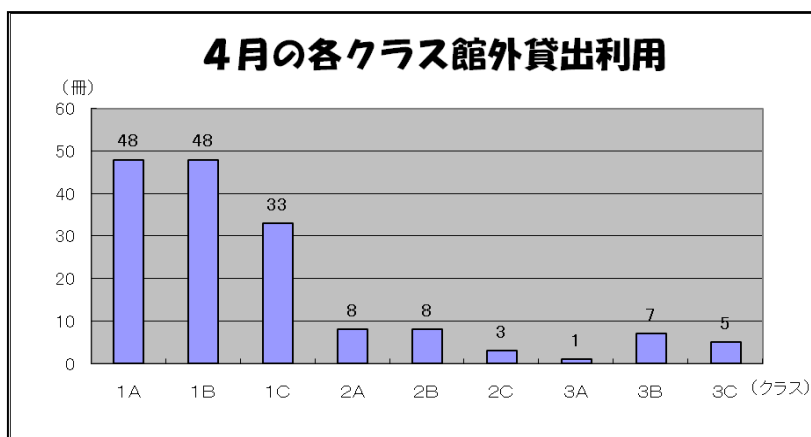
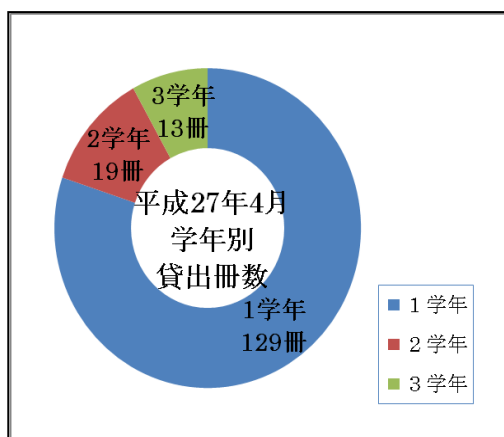


◆『13歳からの論理ノート:「考える」ための55のレッスン』(小野田 博一著, PHP 研究所, 2006年)
 ・本が苦手な私でも楽しく読むことができた。最後までは読めなかったけど、いつも私の書く文章が何を言いたいのかわからないのは、論理的じゃないからかなと思った。(3B 女子)



◆『農業という仕事:食と環境を守る』(大江 正章著, 岩波書店, 2001年)
 ・農業を経営するという事は様々な責任を背負うということなので、予想以上に大変なことだと思いました。たとえ赤字が出てしまったとしても、最後までやり尽くすという著者の諦めない心がとても伝わってきました。(3C 男子)

4月の各クラス・各学年 図書貸出状況



4月の全校貸出総数は161冊でした。4月中旬に実施した、図書館オリエンテーションから1学年の利用が活発になっています。教職員の貸出数は18冊でした。

「全校一斉新聞読もうの日」

5月22日(金)に「全校一斉新聞読もうの日」を実施しました。新聞を読んで活字の情報に触れ、興味を持った記事についてワークシートにまとめました。ワークシートの集計結果については、次号で詳しくお伝えする予定です。



休館日のお知らせ

(2015年5月末現在)

こちらでお知らせした日以外にも臨時休館する場合があります。

***6月12日(金)**

司書が出張で不在となるため、終日休館します。

***6月19日(金)**

農業クラブ情報処理競技会の控室として使用するため、関係者以外立ち入り禁止となります。